

令和5年度
市民と議会の意見交換会

結果報告書

令和5年8月17日 留萌市議会

令和5年度 実施概要

- 1 目的 留萌市議会基本条例に基づき「市民にわかりやすく・開かれた議会」、「市民参加の機会の拡充」及び「市民への説明責任果たす」を実現することを目的とする。
- 2 主催 留萌市議会（議会広報広聴常任委員会所管）
- 3 開催日時 令和5年7月24日(月)
午後6時30分～午後8時まで（90分）
- 4 場所 留萌市中央公民館 講堂、他4室
- 5 実施内容 第1部 議会報告
① 第2回定例会の報告
② 第1常任委員会からの活動報告
③ 第2常任委員会からの活動報告
第2部 意見交換
【テーマ】 道の駅るもい・旧留萌駅周辺とまちづくり
① 「道の駅るもい」に対する期待や課題の意見
② 「モンベルアウトドアヴィレッジるもい構想」に対する期待や課題の意見
③ 「新複合交流施設」に対する期待や課題の意見
- 6 開催次第 (1) 開 会 司会進行 議会広報広聴常任委員長
(2) 主催者挨拶 議長
(3) 議会報告 ① 議会運営委員長
② 第1常任委員長
③ 第2常任委員長
(4) 意見交換 班別名簿のとおり
(5) 全体会 各グループの記録担当議員が意見を発表
(6) 閉会挨拶 副議長

8 班別名簿

区分	議 員	参 加 者 (23名)
第1班	司会 村 上 均 記録 横 田 美 樹	宮 井 清 隆 (留萌商工会議所) 早 坂 康 (留萌市校長会) 高 橋 基 文 (連合北海道留萌地区連合会) 菅 原 敏 子 (国際ソロプチミスト留萌) 伊 端 隆 康 (NPO法人 留萌スポーツ協会)
第2班	司会 野 崎 良 夫 記録 鈴 田 亜 湖	柳 澤 豊 (留萌市建設業協会) 加 藤 健 太 (留萌市PTA連合会) 松 下 悦 子 (国際ソロプチミスト留萌) 渡 辺 辰 二 (留萌市老人クラブ連合会)
第3班	司会 村 山 ゆかり 記録 川 村 忠 司	桜 井 匠 (一般参加) 後 藤 妙 子 (留萌金融協会) 瀧 澤 共 喜 (北海道留萌高等学校) 石 塚 春 雄 (留萌地区退職者連合)
第4班	司会 米 倉 靖 夫 記録 田 村 裕 樹	松 永 健太郎 (留萌金融協会) 岸 田 和 博 (社会福祉法人 留萌萌幼会) 蔵 根 倫 美 (女性ネットワークるる)
第5班	司会 小 野 敏 雄 記録 宇 川 達 朗	角 谷 亨 仙 (一般参加) 櫻 庭 好 子 (留萌消費者協会) 竹 内 美 和 (社会福祉法人 留萌萌幼会) 佐 藤 亮 訓 (一般社団法人 留萌青年会議所)
第6班	司会 燕 昌 克 記録 村 上 雅 彦	行 天 紀恵子 (留萌消費者協会) 関 野 寿 子 (NPO法人 留萌市文化会議) 玉 田 宏 幸 (留萌商工会議所青年部)

- ※1 議会広報広聴常任委員会の小沼清美委員長と戸水美保子副委員長は、全体調整を担当
 2 各種団体には、33団体に依頼し、17団体21名の方々が参加
 3 一般募集には、3名の申込があったが、当日の発熱により2名が参加

9 意見結果 別途「意見集約結果」に記載のとおり

①「道の駅るもい」

[第1班]

- ・ 子どもたちが、将来、市政の担い手になるとき、このまちに残りたいと思える魅力やビジョンが必要。モンベルに対しての不安もあるが、前向きな姿勢は、評価する所と感じる。
- ・ 「道の駅で授業をして」と開発局よりオファーがある。交通の結節点である道の駅は、子育て機能や防災機能に加え、交流人口の増加に繋がる集約となっている。もっと子どもたちに魅力を伝えられる取組みが必要である。
- ・ 道の駅の場所は、もともと国鉄の用地であり、市が買わされたもの。お金の掛からない芝生化やドッグラン、パークゴルフ場となっているが、新たに開発するにしても、きちんと広聴活動を行って進めるべき。
- ・ 2年前、何も無かった所に地方から人を連れて行ったが、風が強かった。今後、どのようにして行くのか、飲食の課題もわからない。
- ・ 休憩所が無い。(特に)夏が予想以上に何も無い。ロケーションをもっと活用したら良いのでは。
- ・ 図書館も子どもが歩いて気軽に行ける場所ではなく、親が送り迎えしている。子どもたちだけで行ける場所が無い。駅が無くなり、船場公園は近い場所になったはずだが、遠いイメージが残っている。
- ・ 道の駅も、「ちゃいるも」建設時も、市民との議論をしていない。子育て中の親や幼稚園、保育士などの声が反映されていない。
- ・ 多様な意見を聞いた結果が、ちゃんと行政として進めてもらえればと考える。

[第2班]

- ・ 「ちゃいるも」ができて、人の流れも良くなり、観光客も増え、他の道の駅に比べると賑わっている。

[第3班]

- ・ 他地域からきた者の視点で見ても、道の駅の芝生広場は素晴らしい、と感じた。もっと外を活用したアクティビティ施設を作ったり、道の駅を活用したイベント（ハーフマラソンなど）や、ワーケーションの利用者を誘致できるようにしたりしてはどうか。
- ・ 道の駅、モンベル、複合施設を同時に整備するのは難しいので、連動も考え、一つずつ整理してはどうか。

- ・ 交流人口増加による「稼げる留萌」という考えは、良いと思う。

[第4班]

- ・ 何度か利用しているが、子どもたちが利用しているイメージがない。「ちゃいるも」など利用人数の推移を知りたい。また、利用状況など調べても見つけにくいので、市民が確認しやすい広報に取り組んでほしい。
- ・ 冬の利用者数を上げる取組みが必要ではないか。新鮮な魚介類や農産物の直売など、留萌名産の販売で集客率を上げてほしい。
- ・ 駐車台数を見ると、それなりに利用しているのが見て取れるが、経済効果（売上額）がどうなっているか、知りたい。また、市内の経済に波及しているか、知りたい。チャレンジショップはあるものの、飲食ブースが無いのが不思議である。

[第5班]

- ・ 公園としての機能が必要。サッカーなどができなくなるため代替策を考えてほしい。
- ・ 飲食する場所を、施設の中（2階など）へ移動できないか。
- ・ 留萌には、こんな立派な道の駅があると自慢できる施設にしてほしい。
- ・ 「道の駅るもい」も海のふるさと館と同じようにならないか不安である。
- ・ サービスとして、おもてなし「いらっしゃいませ、ありがとうございました」のムードが薄れている。
- ・ 小さい子が遊べる公園が無く、遊具を設置して欲しい。
- ・ 地場のものを置いてはどうか。野菜、魚介など。
- ・ 市民が行きたくなるようなワクワク感が欲しい。定期的なイベント開催など。

[第6班]

- ・ 小さい子がいて「ちゃいるも」に土日行くと、活気付いていて嬉しく思っている。
- ・ 土日、街中に駐車が多く、良い方向に向かっているのかな、と思っている。
- ・ 品物が高い（ソフトクリーム 600 円は、高い。）というから、私は1回しか行ってない。
- ・ 「ちゃいるも」に行ったことが無いという子が、何人かいて驚いた。
- ・ 飲食関係、少しインパクトが薄いと思う。ホタテ、浜焼き等は、話題性もある。
- ・ 車の人は行けるが、徒歩の人はちょっと大変だと言っていた。

- ・ 野菜等、もう少しあってもいいのかな、と思う。
- ・ 地方から来て、街中誘導で食事等してというのが理想だけど、中々うまくいかないなと思う。

【全体概要】

- ・ 「道の駅るもい」に対する意見としては、比較的評価している意見が多く、今後に向けては、「飲食の内容や環境の充実」、「新鮮な魚介類や農産物などの物産販売の充実」、「遊具などの公園機能の充実」などに期待する意見があった。
- ・ また、市民が誇れるとともに利用できる環境として、イベントなどの取組やアクセス整備を期待する意見もあった。
- ・ 一方で、「整備に際しての広聴活動や議論の不足」、「利用状況など、現状に関する広報の不足」、「おもてなし意識の欠落」など、苦言を呈する意見もあった。
- ・ 留萌市議会としても、これらのご意見を踏まえ、議会活動（会議体での協議など）及び議員活動（一般質問など）に反映させていただくこととします。

② 「モンベルアウトドアヴィレッジるもい構想」

[第1班]

- ・ 今までは、10年～20年後を見据えた種を蒔いてこなかった。今回、モンベルや小麦倉庫、洋上風力、給食センターなどたくさんの種を蒔いているので、一定の評価はしている。うまく行くかはわからないが、市民の意見をたくさん聞いて割り切って進めることや、何より人が増えることが大切。それを見極めて意見を述べる場を作ることが大切である。
- ・ 将来を見据えた施設とを感じるが、大きな芝生ゾーンにコテージは勿体無い。サッカーの大きな試合の誘致が可能では、と思う。
- ・ 改めて市民の声も聞いて、空いている所に何を作るのか、今後トータル的な設定を考えることが重要である。
- ・ 事業実現には、市長4期が必要かと。現在、種まき中のため十分議論すべきである。
- ・ 学校の先生は、興味深く捉えている。
- ・ 副港にカヤック体験が考えられているが、水が綺麗ではない。健康面で心配は無いのか。海の方に持って行った方が綺麗なのではないか。
- ・ 集客や雇用のメリットについて、もっと開示すべき。きちんとした根拠を示す必要がある。
- ・ 市は、今まで様々な事業を行ってきたが、やったことのないものに挑戦してもいいの

では。まちの風潮を変えないと、良いものは育たない。

- ・ 管内的にやっている所があまりない。ある程度の投資は必要。どこに魅力を見出して行くのか、アウトドアショップのみでは不十分ではないか。
- ・ 留萌市民は、あの場所でキャンプしない。20億円のコテージに対してはクエスチョンである。キャンプ場として本当に客が来るのか、相当高い料金をもらわないと絶対合わないと思う。
- ・ 緑はたくさんあった方が良い。芝生を潰してほしくない。
- ・ 港と繋げて移動し易く。駅前の鮮魚店にショップに入ってもらうなど、他とは違う魅力を。
- ・ モンベルは、オロロンライン全てを含めてのリサーチではないのか。チャレンジしてみても良いのでは、留萌の将来を見据えて。
- ・ 全国の道の駅であのような芝生があるところは他にないのではいか。他とは違う魅力がある。

[第2班]

- ・ 人口減少は、止めることができない。その中で企業誘致は必要であるのは理解している。ただ、素人はお金の使い方が分からない。国の補助金「財源内訳」を民間に分かり易く説明してほしい。
- ・ モンベル構想については良いと思うが、もっと市民の声を聞いてもらいたい。キャンプ場よりも子どもたちが遊べる施設を造ってほしい。
- ・ モンベルよりも温泉施設など、市民の交流の場を造ってほしい。
- ・ 構想的には良いけど41億という莫大な金額の話が出て、市民の不安の声がどれだけ市議会で反映するか検討してほしい。
- ・ 留萌市民が使えない施設を作っても仕方がない。
- ・ 地元の人たちでは無く、他の人たちを呼び寄せる内容になっているため、モンベルが強くて出ている。もう少し、地元市民が納得できる説明が必要である。
- ・ 道路挟んだカヤックも関連するのにあたって海保や漁組は理解しているのか、疑問である。
- ・ 新しい施設を建てる前に、神居岩公園や古い施設の整備はどうなっているのか。除雪車を買ったり、お金を掛けて整備したりしている筈なのに、留萌市のお金の使い方が見えない。「ふるも」も施設があるのに使い方がおかしい。今ある施設をきちんと管理してほしい。
- ・ モンベルの維持管理はどうなるのか、不明である。

[第3班]

- ・ 比較的賛成側の意見として、まず交流人口増加が目的なのか、市民に目を向けた地域活性なのか、ビジョンが見えにくい。モンベルのショップができるのであれば、その製品を体験できる施設やアクティビティがあるなど、冬季のビジョンも含めて、まだゾーニングに課題があると感じる。

[第4班]

- ・ モンベルという一流ブランドが留萌に魅力を感じ出店意欲があるということは心強い。道の駅の飲食ブースには改善点があると考えるので、ショップ内に検討されている飲食ブースには期待したい。本資料内での課題は、コテージ棟を含むキャンプ施設である。喧騒から離れた自然でアウトドアを楽しむ方が多いと思うが、ゾーニングイメージで示されている場所では、求める効果が得られないと思う。
- ・ 公設民営で展開するとの報道も出たが、企業なら収益の増加がみられない場合や赤字となったときに簡単に撤退すると考えるのが普通である。市との契約内容など、十分に精査し、効果ある事業として欲しい。
- ・ モンベルショップでしか買えない非常食などを購入するために、地方で買い物をすることがあるので、留萌市にショップがあると大変嬉しい。しかし、アウトドアが嫌いというのもあるが、あの場所でキャンプをしたいという方は、居ないのではないかな。

[第5班]

- ・ 決定する前に情報が流れ、まだ具体的な情報が見えない。
- ・ モンベルが撤退せず長く留萌にいてくれるのか、という不安が強い。
- ・ 予算が高いかどうかよりも、規模縮小になり中途半端な建物にならないか疑問である。
- ・ モンベルが来ることに対する留萌市、市民への受益があるのか疑問である。
- ・ 夕日が見える場所にキャンプ場があった方がいいのではないかな。

[第6班]

- ・ 21日の会議も出席した。12億の内訳はザックリ出たが、41億の内訳がわからないので、その金額について、そもそも議論のしようがないと思う。
- ・ 5つやって成功ビジョンがあるのなら、全部を完結させるかゼロか、だと思う。
- ・ 人口が毎月減っている。高齢化との関係はどうなのかと思う。
- ・ 反対しても、できたら、みんなで一生懸命応援することが大事なことと思う。
- ・ けちって中途半端にするのなら、お金の工面に全力を注ぐ方が前向きと思う。

- ・ 留萌市はお金ないのに「そんなものか」と言う人もいる。

【全体概要】

- ・ モンベルを整備することに関しては、否定的な意見よりは、肯定的な意見が多くあった。
- ・ 肯定的な意見としては、「ブランド力に期待」、「まちの風潮を変えることに期待」などがあった。ただし、整備に賛成しながらも「財政面で中途半端な施設」になることの懸念がある一方で「芝生の存続」を求める意見もあり、それぞれの思惑に差異を感じる。
- ・ また、構想に対しては、「財政的な不安」、「キャンプ場やカヤックの場所に疑問」、「具体的な情報が不足」などの意見もあった。
- ・ モンベルの整備に関する否定的な意見としては、「市民が利用できる施設の整備」、「既存施設や設備の充実」などを優先すべきとの意見があった。
- ・ 留萌市議会としても、これらのご意見を踏まえ、議会活動（会議体での協議など）及び議員活動（一般質問など）に反映させていただくこととします。

③ 「新複合交流施設」

[第1班]

- ・ バスターミナルはできるのか。駅が無くなった後のターミナルは、活性化しない。ターミナルではなく大町などから自由に乗れるものが良いのではないか。
- ・ しっかりとした方向性が必要だと思う。旧駅の場所にそのまま建てないでほしい。
- ・ 無償譲渡について、大町の法面のように、市が管理を行なわなければならない。
- ・ 公民館など利用者が減少している施設だが、産業会館や小ホールを併設した複合施設へとリニューアルするなど。市役所が建つと賑わいはできる。
- ・ 産業会館や市役所の一部を入れた複合施設など、様々な機能が入るのが一番いいと感じる。
- ・ 色々な団体などの大会や全道大会などが回ってくるが、宿泊施設が無いと、手を挙げられない。
- ・ コンベンションセンターやホテルがないので、自分たちで会場づくりや運営をしなくてはならない。施設での運営で会場設営など行って欲しいが、年間何百人しか来ない街に対してこのような運営が可能なのか。
- ・ 人が集まることを目的にすれば、市役所は、職員が大勢働いているので、その選択肢も排除はできない。

- ・ 道の駅側から旧留萌駅を真っ直ぐ抜けられるような作りにして、もっと身近に感じられるように。

[第2班]

- ・ 留萌には、イベントをする大きな施設が無い。産業会館は、駐車場も狭いしMA X 450人、テーブルだとMA X 200人、セレモニーホールや結婚式にも使える大きな施設を期待する。
- ・ 産業会館は2Fのため、階段が大変なので、設計段階で障がい者や高齢者も使い易い1Fの施設にしてほしい。
- ・ 道の駅と連携して、市民が使える複合施設を設計してほしい。
- ・ 行政に任せるのではなく、あくまでも市民の要望を取り入れて市民目線の建物にしてほしい。
- ・ 温浴施設は必要。ご飯を一緒に食べたり、円を囲んでお話をしたり、高齢者の多い留萌には憩いの場になり、家族団らんの場にもなる。

[第3班]

- ・ まずは、何故複合交流施設を造るのか、造ることが目的なのか、必要。「だから造る」のかが見えない。
- ・ 造るのであれば、緊急時避難施設になることや、公共施設だけでなく、例えば、商工会議所やそういった民間の施設や店舗も入れるようにしてはどうか。
- ・ 留萌は、歴史館のような地域の歴史を伝える場所が少ないと感じるので、観光客向けの留萌をPRする施設も必要ではないか。

[第4班]

- ・ 様々な施設が入れるために、ビル化した施設もいいのではないか。
- ・ ぜひ、保育施設を併設して頂きたい。そうすることにより、多世代が集う理想的な施設となると思う。
- ・ 留萌駅舎の解体が令和7年度見込みとあるが、そこに向けてのスケジュールを知りたい。また、それを見据えて動くのであれば、様々な方から意見を徴収し、使いやすい施設となることを望む。

[第5班]

- ・ 留萌高校跡地に複合施設を建ててはどうか。
- ・ 駅跡地には、何もいらぬのではないか。

- ・ 異世代交流。デイサービスと保育園があるような色々な世代が交流できる市民が集る施設が良いのでは。
- ・ 複合施設の中身ではなく、まず複合施設と道の駅も含めたランドデザインを示してほしい。

[第6班]

- ・ 交流複合施設というのが、イメージできない。
- ・ 市役所機能も含めて、すべて集約して一つのところにあるって、良い。
- ・ みんなで話していると、お風呂で困っている人が多い。何とかしてほしい。

【全体概要】

- ・ 新交流複合施設に関しては、まだ先のことであり、イメージがわからない方も見受けられたが、複合施設に入れるべき施設や機能としては、「大人数が利用できるコンベンション機能」、「市役所の一部」、「温浴施設」、「民間団体の事務所や店舗」、「緊急時避難機能」、「歴史館」、「観光 PR 機能」、異世代交流として「保育施設」と「デイサービス機能」などの意見があった。
- ・ また、JRが無くなった後の公共交通として、「バスターミナルの可否」などの意見や、旧留萌駅跡地については、「JRからの無償譲渡後の維持管理負担への懸念」、「市街地と道の駅の連動性」などの意見もあった。
- ・ 新交流複合施設の整備については、「道の駅を含めたランドデザインの必要性」、「旧留萌高校の活用」、「スケジュールの周知と市民意見の反映」を望む意見があった。
- ・ 留萌市議会としても、これらのご意見を踏まえ、議会活動（会議体での協議など）及び議員活動（一般質問など）に反映させていただくこととします。

